

JOHN SIMPSON

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Author
- Journalist
- BBC's World Affairs Editor



Topics

- Facilitators

ジョン・シンプソンは、熟練した公開基調講演者であり、夕食後の講演者であり、彼の活気にあふれた楽しいスピーチや講演で世界中の観客を魅了しています。国際ジャーナリズムで40年以上の経験を積んできた彼は、非常に事実に基づいた激しい世界問題から、彼の広範な旅行からのより心のこもった面白い話までを網羅することができます。

40年以上にわたるBBCの経歴の中で - 彼は1966年に研修生ジャーナリストとして参加しました - ジョンは世界で最も経験豊富で権威あるジャーナリストの一人として評判を得ています。BBCでの最初の仕事は1966年のラジオニュースの研修生の副編集者としてでした。ジョンは30の戦争ゾーンから、世界中の100カ国以上から報告し、サダムフセイン、オサマビンラディン、ネルソンを含む多数の物議を醸す世界のリーダーにインタビューしました。マンデラ、マーガレット・サッチャー、ミハイル・ゴルバチョフ、ヤセル・アラファト、大佐ガダフィ、アヤトラ・ホメイニ、ロバート・ムガベ、そして皇帝ボカサ。

ジョンのより要求の大きい主要な任務の1つはカブールの秋の間にアフガニスタンから報告していました。ジョンは1999年のコソボ危機の間にベオグラードからも報告しました。当局が紛争の開始時にナト諸国からのそれらを追放したとき彼はセルビアの首都に残るジャーナリストのほんの一握りの一人でした。「他のみんなが引き抜いていたので、私はただ据え置き、何が起こったのかを見ることにした」と彼は言った。次の12週間、彼は毎日、そしてすべてのBBCサービスについて24時間いつでもレポートを提出し、BBC News Onlineを通じてインターネットユーザーからの質問に答えた最初の戦争ゾーンのBBCジャーナリストでした。

2000年4月に、彼は紛争の彼の報告のために今年のRTS(ロイヤルテレビ協会)ジャーナリストオブザイヤーに選ばれました。

トラブルの現場を訪れることを人生のやり方にするキャリアの中で、パレスチナ人の兵士が彼に路上でひざまずくことを命じて銃を持っていたときでさえ、彼は彼の安全を恐れないと言います。火の対戦車爆弾が落とされ、イラクで彼から数ヤード離れたところで爆発し、彼の翻訳者を殺し、破片を使ってジョンにシャワーを浴びた。

アフガニスタンで砲撃されたこと、湾で有毒ガスで攻撃されたこと、天安門広場で弾丸を避けたことなど、その他の密接な髭剃りがあります。ジョンはまた、選挙を呼びかけようとしていたかどうかを尋ねたハロルド・ウィルソンによってパンチされたという若い記者としての名誉も持っていました。

ジョンは1988年にディプロマティック・エディターおよびナイン・オクロック・ニュースのプレゼンターとして任命された後に世界問題編集者に任命されました。それ以前は、南アフリカ、ブリュッセル、ダブリンで特派員として働いていました。

ジョンはまたシンプソンの世界と呼ばれる現在のそして政治問題プログラムを提示する。ジョンシンプソンの世界はBBCワールドとBBCニュース24で放送され、200カ国で見られます。各エディションには、1億5千1百万人の視聴者がいると推定される視聴者がいます。その5年間で、シンプソンの世界は40カ国以上で100人以上の人々にインタビューをしました、そしてBBC世界の最も人気のあるプログラムの1つです。

ジョンは1991年にCBEを受け、ロイヤルテレビ協会の「ジャーナリスト・オブ・ザ・イヤー」に2度任命されたのはわずか2人のうちの1人です（1991年と2000年）。彼の他の賞の中には3つのBAFTAアヤトラホメイニのイランへの帰還の報道（1979年）、ピーボディ信頼賞の報道（1999年）、バイユー戦争特派員賞（2002年）の特別陪審賞があります。BBCのTen O'Clock News（2002年）GQ Magazineの「Author of the Year」（2003年）、および2004年にJohnがPan MacMillanから「The for the Kabul」の賞を受賞した。『サダムとの戦い』（2004年）のためのオーディオブック・オブ・ザ・イヤー。1999年9月、マグダレン大学はジョンに名誉奨学金を授与し、2005年11月にジョンはローハンプトン大学の学長に就任しました。ごく最近、ジョンはリーズ大学から名誉博士号を授与され、2010年7月にジョンはイタリアで最も権威のあるメディア賞である国際イスキアジャーナリズム賞を受賞しました。